



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.7
令和 5年 9月28日
文責 校長 遠藤 隆典

【学校の教育目標】

りこうで
たっしやで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB



タブレット活用で学習内容を教える授業から資質・能力を育てる授業へ改革！

校長 遠藤 隆典

記録的な暑さがうそだったかのような涼しく時折肌寒さを感じる季節となりました。暑さ対策の心配は無くなりましたが、市内では、新型コロナやインフルエンザの罹患者が増えています。引き続き、予防対策並びに体調管理へのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、地域・保護者の皆さんは、学校での授業というどんな光景を思い浮かべるでしょうか。

黒板とノートに向き合い、先生の問いかけに子どもが手を挙げ発表し、みんなで大事なことをノートに書いて大切なことを覚えていくといった授業の様子を思い浮かべる方が多いと思います。

その授業の様子が、今、タブレットが学習用具として定着したことで変わってきています。

もちろん黒板にチョークで板書される様子や、ノートやプリントに書くという活動は基本ではありますが、タブレットの使用時の授業では、様子が大きく変わってきています。

まず、自分の考えや感想を書いたり発表したりするといった表現活動が、タブレットで行われることが増えています。タブレットに打ち込んだものは、お互いに見られるようにする機能もあるので、学習の目的によって互いの考えを参考にしながら学び進めるといったこともできます。自分が何もしないと何も進まないの自分ごととして学習にかかわる意識が高まるようです。そして、自分なりのペースで取り組めるので、周りに合わせることなく効率的で、かつ、主体性を育むことにもつながります。



また、復習問題などは、タブレットのドリル機能を使うと、即座に自動的に採点してくれて、正しい答えまで取り組み続けることができます。先生が赤ペンでマルをつける。それを子どもが待つといった時間が縮減されます。何より、間違いを知りすぐに自分で解き直すことができます。さらに、どの問題の間違いが多いのかを担当はタブレットで把握できるので指導の重点化を図ることもできます。

このように、各教科の学習の目的に合わせて活用を工夫していくと、子ども一人一人の学習を充実させ、学習の質を高める面で非常に有効な活用ができるものだとして授業を参観し実感しています。



しかし、このような授業での活用にたどりつくには、実は先生方の多くの苦勞と努力がありました。時代に伴う変化を受けとめ、タブレットの有効活用に向き合い、全校で授業の改革に取り組んでいる本校の先生方の努力と、工夫して授業しようという思いがあつてこそだと感じています。

このような授業の変化は、国として子どもたちの生きる力をつけるために授業で育てる力を見直したことが土台となっています。今、各教科の授業では、学習内容として各教科の知識・技能を身に付けさせるだけではなく、理解していることやできることをどう使うかという思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育てることが求められています。



今後も、タブレットは、子どもの未来につながる資質・能力を育む効果的な学習用具という意識を高めて、全職員で研修を重ね、資質・能力を育てる授業に向けた授業改革に取り組んでいきます。

5年生 キャリア教育「将来を見据えて」～地域施設・企業の協力に感謝です！～

9月13日、5年生が地域の企業・施設等の協力を得て、職場体験学習を実施しました。未来社会を担っていく子どもたちに、自分の将来を見据えて様々な職業について体験し仕事について考えていくキャリア教育は、子どもたちに社会とかかわり自分らしく生きていく力を育む上でとても重要な教育活動です。

本校は、校区に多くの公的施設や商業施設・各種企業が所在しており、教育資源に非常に恵まれている学校です。この地域性を生かし、6年ほど前より、地域の施設・企業に協力をいただき、5年生の職場体験学習が続けられています。

稲穂小の誇らしい取組の1つです。過去3年間はコロナ禍でしたが、縮小しながらこの学習は継続されてきました。地域企業の子どもたち・学校への思い・協力体制に感謝しかありません。そして、今年度も、多くのご協力をいただき実施することができました。

子どもたちは、今回、自分の目で見て感じて発見したことを忘れず成長していきます。学校でも、この素晴らしい地域の思いを受けとめ、子どもたちに社会・人とかかわる力(コミュニケーション能力)を育ていけるよう努力していきます。



4年生 見学旅行に行ってきました！

4年生が9月15日に見学旅行に行ってきました。札幌市防災センターと北海道開拓の村に行ってきました。

秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、子どもたちはグループに分かれて目的地で体験的な学習を数多く経験することができました。防災センターでは震度7の揺れや消火器の体験をしてきました。開拓の村では、事前に調べていた昔の建物を実際に見て、今の施設・建物との違いを実感し、昔の生活に

ついての理解を深めることができましたよう。

また、グループでチームワーク良く活動する力をつけるのも行事の目的でした。たくさんのグループ行動を経験し、仲間と協力する事の大切さと、長時間協力し合って過ごすことの難しさも経験したようです。この経験が、高学年への意識につながっていくことを期待しています。

1～3年生 人権教室を実施！～一人で悩まない、必ず誰かに相談しよう！～

小樽市人権擁護委員による人権教室を、9月20・21日、1～3年生で実施しました。みんなが安心・安全に過ごすための友達とのかかわり方を、ペアサートなど学年に応じたお話しを通して学びました。誰もが気持ちよく生活するには、いじめなど人を傷つける言動はしてはいけないことを改めて考える事ができました。そして、そのためには友達とお互いに思いやり、互いの気持ちを考えて言葉をかけるなどのかわり方の大切さを改めて学びました。

そして、つらい思いや悲しい思いをしたときには、一人で悩まずに誰かに必ず相談することが、解決の近道になることも教えてもらいました。

学校中に、人を思いやる声かけが増えていくことを目指していきます。

